

資料番号		0349-01-001-05	0349-01-001-06	0349-01-002-06	0349-01-004-02
調査年月	2004/10/12	2004/1/13	2004/10/26	2004/10/26	2004/1/13
調査者	川口 浩	生谷 吉男	川口 浩	川口 浩	生谷 吉男
名称	夜会服地及び流行服地標本	夜会服地及び流行服地標本	夜会服地及び流行服地標本	夜会服地及び流行服地標本	夜会服地及び流行服地標本
糸	素材	絹	絹、金糸	レーヨン?	木綿
	タテ	絹平糸(細糸)	絹	レーヨン?	
	ヌキ	絹平糸(太糸)	丸撚金糸	レーヨン?	
色	地色	白と茶褐色段柄	茶色／白	濃茶色	茶色地色に青色の捺染
	木原				
	タテ	白と茶褐色	茶一白	濃茶色	黄・黄土色
加工技法	ヌキ	茶褐色		金糸	黄・黄土色
	織技法	畝織組織による縞柄を表現	経糸を2色交互に畝状に浮かせ2mm、9mmに並べ、経糸にはレーヨン2色にを交互にし7本ごとに1本のウール(濃い茶色)がある	紋織	平織
	染技法	経糸、緯糸とともに白および褐色の先染	糸染でレーヨン2色、ウール1色の浸染	先染糸(緯糸)	先染糸使用
その他					
			仕上げにペーパーカレンダーを掛けて表面を平滑にしてある		
文様	横縞柄	経糸方向の畝模様柄(2mm,9mm幅の畝)	幾何模様	格子縞柄	幾何模様
形状		切地、端切れ			裂地
用途	絹服地	服地	服地	流行服地	服地
特記事項	横縞の白と褐色の明暗を強調しながら太い縞柄と細い縞柄を配列する	地経糸を濃い茶色を使って平織でその上に繻子(朱子)に織り込まれた経糸(レーヨン)が浮かび上がってい	緯糸の丸撚り金糸を地として経糸の浮沈によって幾何学模様を表現。奇抜な柄いきが興味深い。	典型的格子柄で収集品の中では極めてシンプルな一例であろう。	ブロック捺染で顔料を使い、生地に強圧して凹面を作り同時に顔料を捺染固定している
調査所見					
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
考備					

資料番号	0349-01-004-05	0349-01-004-05	0349-01-007-02	0349-01-008-06	0349-01-019-08
調査年月	2004/1/13	2004/1/13	2004/1/13	2004/10/26	2004/10/12
調査者	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男	川口 浩	川口 浩
名称	夜会服地及び流行服地標本	夜会服地及び流行服地標本	夜会服地及び流行服地標本	夜会服地及び流行服地標本	夜会服地及び流行服地標本
糸 色	素材 タテ ヌキ	レーヨン部分切り、パイル	レーヨンパイル	木綿パイル	絹およびお金糸 1.レーヨン 2.フィルム箔
	地色 顔料	淡色のグリーンで地染、顔料プリント2色	淡色のグリーンで地染、顔料プリント3色	黒	丸撚金銀糸 平糸
	タテ				薄緑色・白色 平糸
	ヌキ				ベージュと黒 レーヨン(ベージュ) レーヨン(ベージュ) フィルム箔(黒)
加工技法	織技法	部分的なパイル	パイル織り	木綿によるパイル織物	変化平織 単純な平組織ながら黒色のフィルム箔をタテ糸4本で綴じている
	染技法	ブロック捺染 顔料	ブロック捺染	生地の上から型染め接着剤を型染(ブロック)それにビーズ2色を接着している。	緯糸(先染糸)
	その他		ペーパーカレンダーで表面を平滑化		
文様	幾何柄	幾何模様	幾何模様	無地	横段状
形状	裂地	裂地	裂地		
用途	服地	服地	服地	流行服地	流行服地
特記事項	パイルをカレンダーで平面に押さえその上からブロック捺染(顔料2色。)捺染技術はソマツなもの	パイル織物をカレンダーで平滑にし、その上からブロック捺染。捺染技術は粗末なもの。	型染が粗雑	薄緑糸の太糸を浮かし、白糸の太糸を沈めて、丸撚金銀のタテ糸で綴じて、金糸の金色をヨコ糸の薄緑色でユニークな外観を表現	黒色のフィルム箔を挿入して横段状の外観を表現しながら、かつ4本のベージュの経糸で綴じ、これがかつ模様のある外観として強調している
調査所見					
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
考備					

資料番号	0349-01-022-05	0349-02-001-10	0349-02-022-04
調査年月	2004/10/12	2004/2/13	2004/1/13
調査者	川口 浩	行松 啓子	行松 啓子
名称	夜会服地及び流行服地標本	夜会服地及び流行服地標本	夜会服地及び流行服地標本
糸	素材	絹	絹地、、レーヨンの浮かし模様
	タテ	絹片撚糸	
	ヌキ	絹甘緒撚糸	
色	地色	紫色	藤色
	木原 生		
	タテ	淡紫色	
	ヌキ	濃紫色	
加工技法	織技法	平組織によるが緯密度が極度に粗	ジャガード 約7mmのフィルムを斜めに織っている
	染技法	経糸・緯糸共に先染糸	
	その他		
文様	無地	バラ柄	型押し花柄
形状		裂地	フィルムを斜めに織り込み表面の樹脂を加工し、プレスすることによる柄を出している
用途	絹衣会服	服地	服地
特記事項	単純な平組織で製織し製織時に織前にて爪搔き操作によってランダムなよろけ効果を表したものと思われる。	絹地ジョーゼットにレーヨンで柄を入れる事により独特の風合いを出している	フィルムで布を作り、表面を加工し、一見、織物には見えない。布としては、かたさがあるので、服地としてどの様に使われていたが疑問
調査所見			
製作地			
製作年			
織名称			
法量	縦		
	横		
	織耳		
考備			